

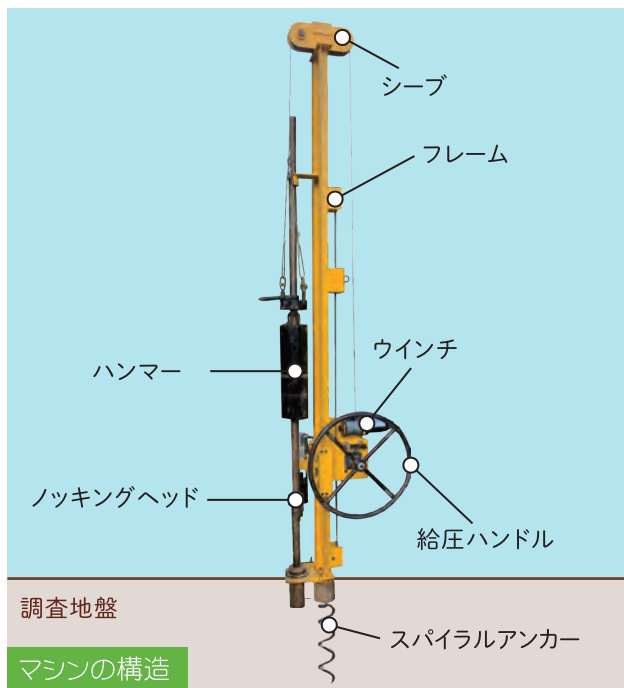
軽量ボーリングマシンを使用した高品質コア採取技術

QSボーリング工法

QSボーリングで採取したコア

特許取得済み!

機械ボーリングと同等のツールを使うハンドフィード式ロータリーボーリングマシンであるため、高品質なコア採取ができる新しいボーリング工法です。本工法は、足場仮設が不要なので、簡易な仮設設備で素早くボーリング調査が実施可能です。また、資機材が軽量であるためアクセスが難しい斜面でも人肩運搬することができます。



POINT! 機械ボーリングと同等の品質のコア採取が可能

POINT! 機械ボーリングと比べて仮設から撤去までの日数が約2分の1（足場仮設不要で人肩運搬実施可能なため）

POINT! 標準貫入試験が実施可能

POINT! ケーシング掘りが可能なため、観測孔の設置が容易



特徴 - Feature -



QSボーリングで採取したコア

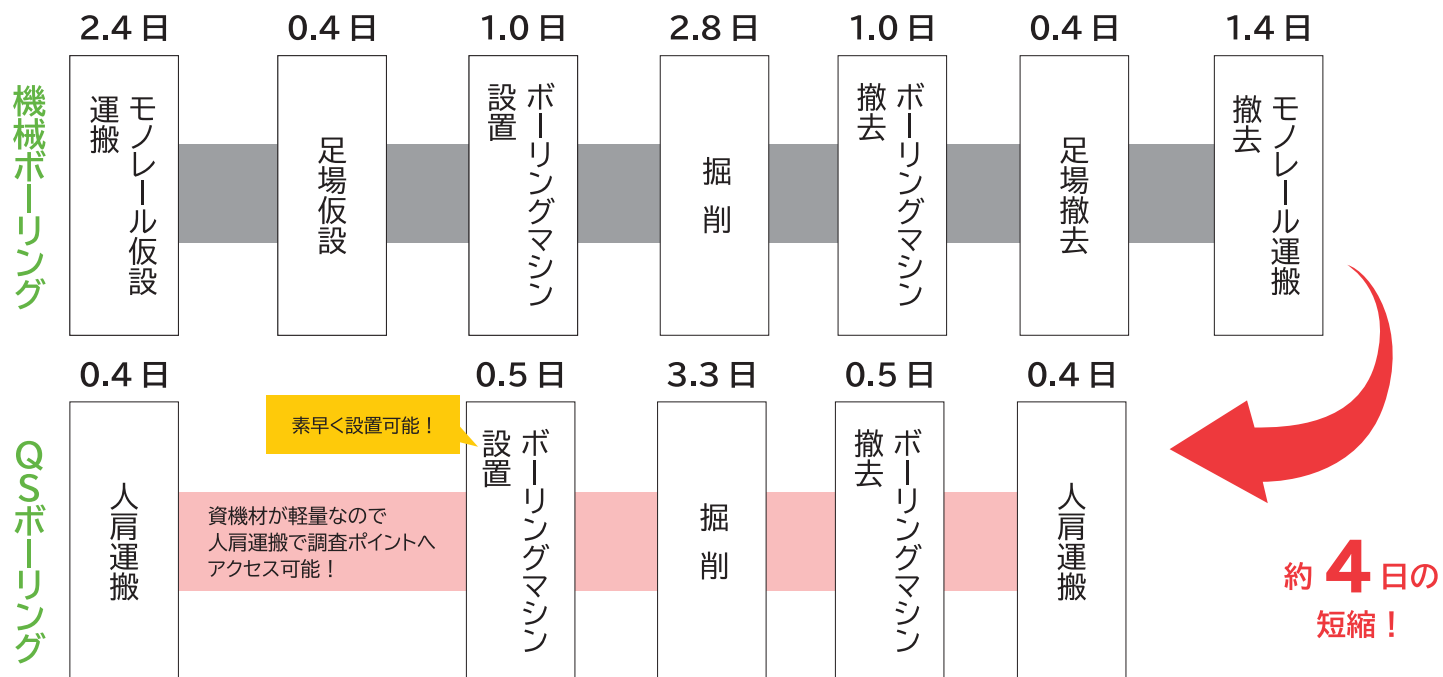
礫混じり土砂や玉石混じり土砂でも機械ボーリングと変わらない高い品質を確保!



人肩運搬実施状況

作業フロー - Work Flow -

(例)盛土斜面:現場までの距離100m、深度10m(砂質土)、掘削径φ86mm(オールコア)と仮定した場合



性能 - Performance -

- ハンドフィード式ロータリーボーリングマシン
- 送水掘り
- 掘削径: φ66mm ~ φ86mm
- 掘削深度: 10mまで実績あり
- 本体重量: 標準貫入試験対応機...92kg
(分割重量...約54kg)
コアボーリング専用機...85kg
(分割重量...約48kg)
- 掘削能力: 粘性土・シルト...30分/m
砂・砂質土...60分/m
礫混じり土砂...60分/m
玉石混じり土砂...90分/m

調査実績 - Drilling Results -

累計実績(2021年2月~2022年12月)

7現場、約100本以上を実施!

主に高速道路のり面における地質調査や学術調査での実績です。

留意点 - Points of attention -

- 最長掘削深度は10m
- 硬岩の掘削に適さない

